まつえ 市議会だより

No.35
2018
2月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER

平成30年度予算を議決
不昧公200年祭、ごみ処理手数料　など　P3〜4

あなたの思いを届けたい
22人の議員が質問　P5〜10

松江の元気な子どもたち

【お世話が大好き♡】

松江市立津田幼稚園の空き教室を利用した、緊急一時預かり保育『つだ・にっこ』の子どもと幼稚園児が一緒に遊び、今までの幼稚園にはなかった幅広い年齢のふれあいが広がります。

第35号　発行日：平成30年6月1日　発行：松江市議会　編集：議会広報等委員会

2月定例会

平成30年2月21日～3月22日

不昧公200年祭、除雪対策、ごみ処理手数料引上げ、待機児童対策などを議論

2月定例会は、平成30年度予算案件14件（一般会計1件、特別会計8件、公営企業会計5件）、平成29年度補正予算案件11件、条例案件61件、一般案件60件を審議、中核市移行に伴う議案など、全て原案可決しました。また、教育長の任命など同意案件2件が提出され、いずれも同意しました。

他に、委員会提出案件2件、議員提出案件3件と諮問1件を審議し、議員提出案件のうち1件を否決、それ以外は全て可決しました。

一般質問には22名の議員が立ち、不昧公200年祭に関すること、除雪対策への取り組み、ごみ処理手数料値上げに関すること、待機児童対策など各般にわたり論戦を展開し、市長など執行部の考え方を問いました。

平成30年度予算

一般会計予算総額は、4月の中核市移行に伴う予算を含め962億3800万円（前年比3.4%増）、特別会計は458億4918万円（前年比5.8%減）、公営企業会計は411億6079万円（前年比0.7%減）となっています。

平成29年度補正予算

一般会計補正予算額は、9億9103万円の増（補正後総額973億9709万円）で、国の経済対策に呼応した平成30年度当初予算と一体となって実施していきます。

条例の制定・改正など（主なもの）

松江市事務分掌条例の一部改正

中核市移行に伴い保健所を設置。子育て支援策の充実及びスポーツ振興を全庁的な取組みとして推進するため、健康子育て部を健康部と子育て部の2部に再編、スポーツに関する事務（学校体育を除く）を教育委員会から市長事務部局へ移管するもの。

松江市中海振興多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定

地域資源を活用し、水陸両用機の運航、水鳥の観察、サイクリング等の拠点施設として、松江市中海振興多目的施設を設置し、その管理に必要な事項を定める条例を制定するもの。

〈中海振興多目的施設〉

松江市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び松江市一般廃棄物の処理手数料に係る収入証紙に関する条例の一部改正

ごみの減量と資源化への誘導を図り、近隣自治体との均衡を踏まえ、安定的な財源確保のため、ごみ処理手数料の引き上げを行うもの。

30年度予算は総額1,832億円

一般・特別・公営企業予算案を審査（3月1日・16日）

２月定例会の予算委員会では、平成30年度予算案14件、平成29年度一般会計補正予算案１件、議案（手数料徴収条例の一部改正）１件を審査し、全ての議案を「原案可決」として本会議に報告しました。

予算委員会での総括質疑（主なもの）

質　問	執　行　部　の　答　弁
地方消費税交付金、地方交付税、合併による交付税減額の緩和策、市債（残額は約1,135億円）の、今後の方向性並びに見通しはどうか。	地方消費税交付金は、国の制度見直しで増額。予定されている消費税率引き上げが確実に行われ、必要な財源が措置されるよう国に要望している。地方交付税は、国の財政健全化策が総額の縮減につながらないよう、引き続き国に要望していく。合併算定替えによる地方交付税縮減は当初57億円の減額を見込んだが、緩和措置によって25億円の減額に止まると推計している。市債は、発行と償還（借入と返済）のバランスを取りながら財政運営を行う。
育児休業取得の促進にむけた具体的な行動についてどう考えているのか。	現在、実態調査やアンケートなどを実施している。それに基づいて検討の場（国・県・商工会議所などが参画）を設置するための予算を計上した。課題を共有した上で、解決策・支援策を検討したい。スピード感をもって、できるところから実行に移していく。
中核市移行に伴い、人材の確保や育成、労働環境の改善をはかるべきだが、市としての考え方を問う。	地方創生などを、事務事業のスクラップや見直しを行いながら進めてきた。今後は、中核市としての機能を発揮するために、新たな事業に必要な体制整備を行う。組織・人員体制・機構について行政診断を行い、定員管理計画をつくりたい。
総合戦略関連の102事業について、総額で約43億6000万円（前年比22%増）の予算が計上されたが、特筆すべき事業と市長の決意を問う。	ハード事業は、幼保園・児童クラブの整備、地熱資源の開発など。中海・宍道湖・大山圏域の「圏域版の総合戦略」では、インドとの経済交流、若者人材確保、地産地消のアクションプランも圏域５市に広げる。観光面では、不昧公200年祭を通年型の観光コンテンツづくりにつなげ、ホーランエンヤ、ジオパークなどを展開し、目標を達成したい。シンガポールに焦点を合わせたプロモーションを行い、インバウンド市場の開拓効果につなげる。

予算委員会での議案審査（主な意見）

【一般会計】

○以下の理由で反対する。
①原発交付金は経常経費ではなく防災安全対策に充てるべきだ　②施設や児童クラブ使用料、ごみ袋料金の値上げが含まれている　③生活保護費が引き下げられている　④市民団体への補助金算定に格差がある　⑤保育所・児童クラブの待機児童対策、保育士の処遇改善が不十分　など。

○社会保障関係経費や公共施設維持管理費を確保するため、事務事業の廃止・見直しを行うとともに、総合戦略に掲げられた事業を中心に主要施策に優先的・重点的に予算配分されており賛成する。

○共創の理念を基本姿勢としていること、地産地消や農福連携の推進、不昧公200年祭をとおして積極的に茶の湯文化を紹介し消費拡大に取り組む点などを評価し賛成する。

○厳しい状況の中、必要な一般財源を確保されていることを評価し賛成する。

【特別会計】

国民健康保険事業特別会計

○保険料滞納世帯が加入世帯の１割以上に達し、市民が払える額を超えている。国保会計の基金と一般会計からの繰り入れで、国保料を１世帯１万円引き下げるべきであり反対する。

後期高齢者医療保険事業特別会計

○限度額の引き上げは負担増につながる。高齢者に重い負担を押し付けながら、医療に格差をつけるものであり反対する。

介護保険事業特別会計

○保険料が引き上げられ、滞納した場合ペナルティが科せられる。保険料を払いやすい額にするため、一般会計からの繰り入れを行うべきであり反対する。

【公営企業会計】

水道事業会計

○簡易水道統合による料金引き上げを含む予算であり反対する。

○退職引当金の計上などもなく、安定した予算が組まれている。上水道と下水道を一体化した長期経営計画を策定する方向性を出すなど、前向きな予算編成であり賛成する。

病院事業会計

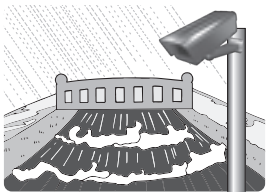
○時間外並びに初診時の選定療養費の徴収を含んでおり反対する。

予算委員会各分科会での質疑（主なもの）

総務分科会

《一般会計》

●質疑のあった項目	①防災情報共有システム　②低入札価格調整制度　ほか
●執行部の答弁	①整備箇所について定点カメラは意宇川沿い、黒田・春日町などを候補地として10か所程度の設置を計画、また現場から映像が送れる端末を約10台導入する予定。 ②安い価格の工事は財政的には良いが、長い目で見ると建設業者の体力が弱くなり建設工事の発注そのものが立ちいかなくなる恐れがある。低入札があまり頻発しないよう制度を考えている。



《国民健康保険事業特別会計》

●質疑のあった項目	①県支出金の増加理由　ほか
●執行部の答弁	①平成30年度から都道府県化により財政運営の仕組みが変わり新たな仕組みに対応する予算編成になる。

教育民生分科会

《一般会計》

●質疑のあった項目	①世界少年野球大会島根大会に「松江」の名を ②児童クラブ指導員の処遇改善と施設整備、今後の児童クラブのあり方　ほか
●執行部の答弁	①大会名に「松江」を入れる点については、実行委員会で協議・検討する。 ②主任手当の増額や通勤手当の新設、賃金単価の増額を行った。経験年数による処遇改善は今後の検討課題としたい。施設整備においては、既存施設の有効活用を検討していきたい。

《病院事業会計》

●質疑のあった項目	①予算と病院事業新改革プランの数値目標　ほか
●執行部の答弁	①概ねプラン通りの予算だが、入院・外来収益は約5,000万円増えている。この要因は、高度医療の提供で診療単価を上げ、短期間で患者さんを地域のかかりつけ医へお返しする地域完結型の医療にある。

経済分科会

《一般会計》

●質疑のあった項目	①不昧公200年祭　②企業誘致の具体的な考え方　ほか
●執行部の答弁	①不昧公の実績を検証する事業、親しみやすい茶の湯、不昧公の業績を市民に知っていただけるものを公募し補助金として支出する。不昧公200年祭記念事業推進委員会で事業計画し適切に支出していく。 ②製造業については企業団地、ソフトビジネスパーク、鉄工団地等へ誘致したい。ＩＴ企業についてはテクノアークしまね、松江テルサ別館、民間の貸事務所への家賃補助などにより誘致を進めていく。

〈和菓子と抹茶を楽しむ「茶の湯堀川遊覧船」〉

《ガス事業会計》

●質疑のあった項目	①ガス局の今後の状況について　ほか
●執行部の答弁	①市民にとって不利益にならないこと、公益性が担保できる仕組みづくり、地元事業を含めた活性化、地域内循環が課題である。今後、数値目標を含めた戦略プランを定め取り組んでいく。

《交通事業会計》

●質疑のあった項目	①大型二種免許取得支援貸付金のこれまでの状況と今後の見通し　ほか
●執行部の答弁	①平成27年度が3名、28年度が2名、29年度が1名となっている。大型二種に関して人の確保が難しい状況である。

建設環境分科会

《一般会計》

●質疑のあった項目	①宍道湖などの水草対策（除草・肥料化）　②宍道湖周辺の景観保全 ③ごみの不法投棄対策　ほか
●執行部の答弁	①国土交通省は大型重機で根こそぎ除去する試験を引き続き実施する予定。島根県は宍道湖の水質への影響調査及び根こそぎ除去の実験を検討している。 ②宍道湖景観形成区域内の建物の高さ規制は、法による強制力がないため十分とはいえない状況。住民の皆さんの理解を得るためには時間が必要だが、できるだけ早く規制手法を検討していきたい。 ③毎年6月に、県が指定した重点監視地域と市が指定した10か所程度を、集中的にパトロールしている。生活環境保全推進員には、リサイクルステーションの見回りと不法投棄の通報をお願いしている。

〈宍道湖の景観〉

市政のここが聞きたい　22人の議員が質問

2月定例会　一般質問

2月定例会では、2月26日から2月28日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問した議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

立脇　通也（たてわき　みちや）（松政クラブ）

- **不昧公200年祭に際して**
- 中核市と職員研修について
- 都市計画、土地利用ともう一つの要素について

質問　不昧公の銅像建立を

新聞紙上で不昧公銅像建立の提案があった。これに呼応して市長は銅像に魂を入れるべく松江市民の心を喚起する運動を起こしていただきたい。

回答　銅像建立を議論する委員会の設置を検討する

不昧公200年祭は、不昧公像の建立について検討する機会になるものと思っていた。商工会議所会頭の新聞寄稿はその機運の表れだと考えている。茶の湯松江のシンボルとなり得る銅像建立になるので、今後不昧公200年祭の記念事業推進委員会の中に銅像建立の小委員会の設置を検討する。

〈月照寺蔵〉

会派代表質問

柳原　治（やなぎはら　おさむ）（松政クラブ）

- **平成30年度予算編成について**
- 島根原子力発電所に対する市民の安心・安全確保について
- 高速交通網の整備構想について
- 森林環境税について
- 施設使用料の改正について
- 台湾台北市との交流について

質問　平成30年度予算編成方針を伺う

最大の課題である人口減少対策、増え続ける社会保障関係費など、さらに厳しさが増してくる中、平成30年度当初予算編成に当たり、どのような方針で臨んだのか。

回答　中核市に必要な予算確保と、総合戦略関連事業102事業を予算計上した

中核市に基づく行政サービスが十二分に実施できるように必要な予算を確保した。また総合戦略の重点施策をまとめる上で3つのポイントを定めた。1つ目は農林水産業、観光産業などの地域内循環や地域内消費また外貨獲得に取り組む。2つ目は教育環境の整備充実やふるさと教育の浸透、若者人材の確保につながる施策や子育て環境の充実に向けて待機児童解消に取り組む。3つ目に防災システムの整備、安全・安心を支えるインフラ整備に取り組む。

会派代表質問

南波　巖（なんば　いわお）（真政クラブ）

- **地方創生の取り組みについて**
- 社会体育の政策部移管について
- 小学校外国語活動の先行実施に伴う課題について
- 県立高校普通科の校区解消と市立女子高校のあり方について
- 平成30年度当初予算関係について

質問　山陰地方発展のため境港出雲道路の早期実現が不可欠、議員連盟との連携は

地方創生の一環として昨年松江市議会有志は、境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟を創設した。山陰地方が発展するためには、早期実現が不可決である。私は議員連盟の会長の思いとして、地権者及び関係各位に対し、議員も行政と一緒になって対応していきたいと思うが、早期実現のため議員連盟との連携を含めた市長のご所見を伺う。

回答　議員連盟、地元国会議員、県議会議員と一体となり、その必要性を国へ訴える

議員連盟の皆様方とともに、地元選出の国会議員と県議会議員の皆様にご協力を得ながら、その必要性を国へ強く訴えることが大事である。また、県、市、あるいは民間が力を合わせて推進していく体制づくり、そして近隣市との連携も必要である。

会派代表質問

篠原　栄（しのはら　さかえ）（公明クラブ）

- 都市計画マスタープランについて
- **地域で安心して暮らせる地域づくりについて**
- 働き方改革について
- 安心・安全の取り組みについて
- 消費者問題について
- 公共施設と市有地について

質問　成年後見制度利用促進の条例策定は

2000年に始まった成年後見制度。潜在的需要はあるにもかかわらず、利用が進んでいない。松江市は市民後見人養成事業を全国に先駆け先進的な取り組みをしている。さらに市条例を策定し、制度の利用促進に取り組む必要があると思うがご所見を伺う。

回答　制度利用促進計画の策定に努めている

制度の利用者数は松江市でも低い状況。制度の理解不足が要因と考えており、法に基づき制度利用促進計画の策定に努めているところである。成年後見制度の周知や相談体制の充実のため、ネットワークの整備あるいは中核機関の設置など具体的施策を検討している。来年度に策定する第5次松江市地域福祉計画・福祉活動計画に規定をしていく。条例については必要性を含め計画策定の中で考えていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

川井（かわい）　弘光（ひろみつ）　（市民クラブ）

- **子ども・子育て支援事業計画の成果と課題**
- 子どもとメディア
- 介護保険

質問　年度中途の「保育所入所待機児童」解消に注力を

年度中途の待機児童発生を解消することが、安心して育児休業制度を活用できる環境づくりにつながり、乳児の健全な発育にも好影響をもたらすものと思う。解消にむけた対策を問う。

回答　平成30年度実施予定の対策で解消したい

年度当初から定員を超える子どもを受け入れている現状が、年度中途の待機児童発生の要因。今議会に提案している補正予算案と平成30年度当初予算案で示した対策を行うことで、認可保育所と企業主導型保育施設の整備、緊急一時預かり事業の充実をはかる。これにより平成31年度当初には各保育所が定員内で受け入れる体制が整って、受け入れ枠に余裕ができ、年度中途の待機解消に結びつくものと考えている。今後は、地域別の待機児童数を踏まえて、必要な地域の入所定数確保を進めていきたい。

会派代表質問

橘（たちばな）　祥朗（よしあき）　（共産党市議団）

- 北朝鮮問題と憲法９条について
- 原発問題について
- 市民の暮らしをまもる課題について
- **除雪対策の充実について**
- 自衛隊機の安全運航を求めることについて

質問　除雪対策の新たな対応を求める

２月の大雪は全国で大きな被害をもたらし、松江の積雪は観測史上３番目で、市民生活に大きな影響を与えた。今回の大雪は氷点下が続き圧雪となり、これまでと状況は大きく異なっている。除雪対策などこれまでの対応では課題が多い、市の対応を問う。今後、他市の経験など参考に新たな対応、自治会等の協力を得るためにも、小型除雪機の配備、農機具での除雪の補助など、要望にどう応えるのか伺う。また、異常気象のもとで、防衛費より防災予算こそ増やすよう国や県に対し求めてほしい。

回答　他市の例も参考に見直しを図る

今回の課題として、除雪機械台数と人手の不足、除雪協力業者の減少、異常気象に対応できる市の体制が整っていなかったことがある。他市の除雪体制なども参考に除雪計画及び体制の見直しを図り、具体策の検討に入る。防災予算の確保について国・県に求めていきたい。

野々内（ののうち）　誠（まこと）　（松政クラブ）

- **学校図書館活用教育について**
- ホーランエンヤの準備状況について
- 河川の浚渫について
- 地産地消推進行動計画と生産者の育成について

質問　学校図書館活用教育の充実について伺う

学校図書館活用教育は子ども達の生きる力を育むもので、全市の児童生徒が等しくこの教育機会に恵まれることが重要だ。授業では学校司書・司書教諭・担任教諭の連携のほか学校全体での取り組みから成果が出ると考えるが今後の展開を伺う。またこの教育の充実のために、学校司書の待遇向上や図書の購入費増額について伺う。

回答　学ぶ力と学びへ向かう力を育てたい

学校図書館活用教育は、今後の教育に欠かせない重要なキーワードだと認識している。学校図書館支援センターでは、学び方指導体系表を示して普及を図っている。今後は全ての教科での活用を広げて、学ぶ力と学びへ向かう力を育てたい。学校司書は嘱託化が進むよう取り組む。図書の購入費は、平成30年度では小学校で16%増、中学校では10%増の予算要求を行っている。

河内（かわうち）　大輔（だいすけ）　（松政クラブ）

- 公共施設適正化について
- 市立幼稚園のあり方について
- 学校教育について
- **大手前駐車場について**

質問　大手前駐車場を廃止して松江観光の目玉となる商業施設整備を提案する

松江城前の一等地に駐車場があるのはもったいない。松江観光の新しい目玉とするため、大手前駐車場を廃止して伊勢神宮のおかげ横丁や熊本城の城彩苑のような買い物や食べ歩きができる商業施設をつくる。そして県民会館有料駐車場の立体駐車場化で収容台数を増やし、松江城観光のメイン駐車場にすれば南殿町からカラコロ工房や京店エリアへの人の流れをつくることもでき賑わいの創出になると考えるがいかがか。

回答　議論のテーブルにのせ再整備構想の策定に取り組む

殿町周辺再整備構想策定懇話会を今年の１月に立ちあげた。提案いただいた内容を懇話会でしっかり話をさせていただき、議論のテーブルにのせ再整備構想の策定に取り組んでいく。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

岩本　雅之（いわもと　まさゆき）　（真政クラブ）

- **地域密着型特別養護老人ホームの空床利用について**
- 福祉・看護人材確保対策について
- 一時預かり保育について
- 福祉とまちづくり・ものづくり

質問　地域密着型特養で、空床ベッドの活用として、ショートステイを推進すべき

地域密着型特別養護老人ホームは、定員数が少ないために、空きベッド１床による稼働率の変動が大きい現状があるが、空床ベッドの有効活用として、弾力的にショートステイの利用を推進するべきだと思うが如何か。

回答　現在、登録がない空床ショートステイの利用に向けて、情報提供をしていく

地域密着型特別養護老人ホームで、ショートステイの指定を受けている事業所は、現在はない。規模の小さい事業所にとって、空床ベッドの有効活用は、稼働率が向上するとともに、地域の皆様にとっても、ショートステイが利用しやすくなると考えるので、今後、運営する事業所に情報提供を行いたいと考えている。

畑尾　幸生（はたお　こうせい）　（市民クラブ）

- 観光行政について
- 観光イベントのあり方について
- **堀川遊覧船について**
- 教育問題について
- 生活困窮者向け宿泊施設について

質問　堀川遊覧船の経営形態と船頭の確保策について伺う

柳川下り、最上川遊覧船など全国の川下り観光船事業で松江市のような公社経営はないのだが、堀川遊覧船の経営形態の見直しについてどう考えているか、高齢者の雇用継続が進み船頭のなり手不足と聞いているが平成30年度の状況と今後の待遇改善などについて検討してはいかがか。

回答　平成30年度に分析し検討する

松江観光の大きな看板である堀川遊覧船を持続的に発展させるため、民間経営の他の川下り事業を参考にしながら来年度行う経営分析の中で検討したい。船頭については平成30年度は確保できるが、改めて確保策を検討する。

長谷川修二（はせがわしゅうじ）　（公明クラブ）

- **シティセールス・プロモーションの具体的な取り組みについて**
- あいさつ奨励条例の制定について
- 地域等で取り組む総合戦略等への支援策について
- 教員へのサポート体制について
- 教育で一番になるための取り組みは
- 除雪の取り組みについて

質問　ＳＮＳの広告を活用したターゲットを絞った戦略的な取り組みを

シティセールス・プロモーションにおいて、ヤフーなどのＳＮＳの広告を活用した、ターゲットを絞った戦略的な取り組みについて伺う。

回答　マーケティング手法を活用したシティプロモーションの調査研究をする

シティプロモーションの取り組みとして、地方自治研究機構とマーケティングの手法を活用した調査研究をし、統計データの分析や３大都市圏を中心としたアンケートなどで、松江市を取り巻く環境の分析やセールスポイントの明確化、メーンターゲットの選定と効果的な情報発信ツールの検討をする。

また、ＳＮＳ上で松江市を検索する際のキーワードや口コミを分析した結果を見て、ＳＮＳ広告の活用を判断していきたいと考えている。

吉儀　敬子（よしぎ　けいこ）　（共産党市議団）

- 松江市のスポーツ行政
- 生保世帯に対する無料ごみ袋の配布
- 島根町歴史民俗資料の保管・展示
- **産後ケア事業の導入**
- 18号台風の教訓

質問　産後ケア事業の導入を

一人での子育てに耐えきれず、産後にうつ病を発症することを防ぐため「産後ケア事業」に取り組むべきではないか。益田・江津・浜田の各市は、厚生労働省の補助金を受けて、個人負担は１日2000円である。松江市は、事業として取り組んでいないので市内のある助産院は、１日23000円で実施している。松江市も、事業として取り組むべきではないか。

回答　周産期連絡会で総合的に検討を行う

「産後ケア事業」は、個々の母子の状況に応じたきめ細やかな支援を行うことができる重要な事業と考えている。周産期医療機関、委嘱助産師や保健所等で構成する本市の周産期連絡会の場を活用して意見交換を行い、利用者のニーズや受け入れ施設等状況もふまえて、総合的に検討する。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

新井　昌禎（にいい まさただ）　（友愛クラブ）

・ものづくり産業の競争力強化について
・地域での高齢者見守り事業の取り組みについて
・ＰＣＢ廃棄物処分の現状と今後の対応について

質問　新聞配達員による見守り制度を市内各地で実施するための課題を伺う

川津地区では、地元新聞販売所と協定を結び、毎朝、各家庭に確実に訪問する新聞配達員の協力を得て、地域の見守り活動の補完的な役割を担っていただいている。新聞配達員は、ちょっとした日々の変化にも気づいていただける貴重な存在であり、こうした見守り制度を市内各地で実施するための課題を伺う。

回答　新聞配達員に過剰な負担をかけないよう地域と連携し全市展開を支援する

今年１月に、公民館長会から川津地区の取り組みを全市で事業展開してほしいとの提言を受けている。埼玉県の川越をモデルとした事業であるが、新聞配達員に過剰な負担をかけるとなかなか進まない。空振りに終わる場合でも地域と連携しながらスムーズに行われることにメリットがあり、全市で実施できるよう支援していく。

太田　哲（おおた さとし）　（公明クラブ）

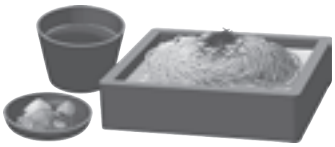
・松江城周辺の活性化について
・空き家対策について
・新聞配達員の見守りについて
・ひきこもりの自立支援・社会復帰について

質問　調整区域における古民家活用の緩和策について伺う

現在、松江市の場合、起業したくても市街化調整区域のほとんどの区域において、古民家を借りて店舗等を開業できない。調整区域の緩和策もあると聞いているがどのような緩和をされるのか伺う。

回答　都市マスタープランにて整備をしていく

古民家やすぐれた景観を生かした地域資源、とても眺めがいいところで例えば飲食店を開くとか、そういう建築物については、地元の同意が得られれば、一定条件のもとで宿泊施設、飲食店など従前の基準では買わなければいけなかったが、賃貸であっても居住が可能となるような用途変更など見直しを進めていきたい。



田中　肇（たなか はじめ）　（共産党市議団）

・原発問題
・待機児童問題
・教育行政の基本姿勢
・教職員の超過勤務
・市民の居住権の保証
・同和問題

質問　大橋川にかかる６橋、市消防本部周辺の橋の耐震補強の状況はどうか

大橋川にかかる６橋、及び、松江市消防本部周辺の橋の耐震補強状況はどうか。また、停電時に給油可能なガソリンスタンドが市内には何か所あるか伺う。

回答　宍道湖大橋、縁結び大橋が耐震性を満たす。消防本部周辺の橋は対象外

大橋川６橋の内、県管理が５橋、市管理が１橋。県管理橋の内、大橋は緊急輸送道路に該当しない。縁結び大橋（だんだん道路）は設計時から耐震性能を満たす。耐震対策対象の３橋の内、完了が宍道湖大橋、実施中がくにびき大橋。新大橋は掛け替え予定で除く。市管理は中海大橋で、今後調査していきたい。

自家発電設備を有する市内のガソリンスタンドは、災害対応型給油所２か所、中核給油所３か所。中核給油所は、緊急車両や重要施設に優先給油する施設である。

三島　伸夫（みしま のぶお）　（松政クラブ）

・市民の皆様からの意見の聴取について
・松江市から市民の皆様への広報活動について
・公民館について
・自転車の安全点検と損害保険について

質問　公民館の業務増加による格差の実態と運営方法の見直しについて伺う

公民館は社会教育の場づくりという本来の目的に加え、地域と行政とを結ぶパイプ役として総合戦略・広報活動・環境問題・土木事業要望・防犯活動・防災拠点を担い、地域福祉の最前線としても益々業務が増加している。また業務増加に伴い公民館の地域格差が顕著になっている。公民館の運営方法・職員配置の見直し、職員の待遇改善が必要と考えるがいかがか。

回答　業務増加による運営方法・職員配置・処遇改善は引き続き検討する

業務増や公民館の人口規模等による格差や、公民館の役割りの重要性も認識している。それを踏まえ本年度には、大規模公民館に１名の増員を実施した。引き続き運営方法や職員待遇を含め館長会や公民館運営協議会と一緒に相談し、検討を重ねる方針である。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

米田（よねだ）ときこ　（松政クラブ）

・健康づくり事業について
・自死対策について
・地域交通対策事業について
・子育て世代包括支援センター業務について

質問　地域内での移動手段の方向性及びデマンドタクシーの導入について伺う

後期高齢者が増える2025年問題における地域内での移動手段の方向性、デマンドタクシーの導入について伺う。

回答　地域の取り組みに市として情報提供、手続き支援や一定の助成等行う

今後は、路線バスやコミュニティバスで全てを満たすことは難しい。バス路線の根幹、幹線を維持し、幹線にアクセスするための手段としてのデマンドタクシー、自治会輸送、自動運転といった交通モードの導入について、今後検討が必要である。メリット、デメリットや課題を整理し、調査研究していきたい。こうした地域の取り組みに情報提供や手続きの支援、一定の助成等で共創の理念等により積極的に支援させていただく。

出川（でがわ）　桃子（ももこ）　（松政クラブ）

・松江市の環境行政について
・不昧公200年祭を契機とした茶の湯文化の後継者育成について

質問　なぜ今ごみ袋代の値上げが必要なのか

なぜ今ごみ袋代の値上げが必要か、市民の間には戸惑いの声が多い。ごみ袋は消耗品でありながら必需品であり、買わないわけにはいかない。だからこそ市民のなぜの声に向き合い、わかりやすく説明するのが行政の務めではないか。また、ごみ収集日程表のレイアウトが、カレンダー形式から現行の形式に変更され、市民から分かり難いと不満の声を聞くが、行政の考える効率と市民の意識に温度差を感じる。環境行政においては市民が協力しやすい体制を整えることが行政の役割ではないか。カレンダー形式の復活を再検討願いたい。

回答　迷惑をかけるが、ご理解とご協力を

循環型社会の形成に向け、市民、事業者、行政が一緒になって再チャレンジしていきたい。日程表については迷惑をかけているが、工夫もしていくので、ご理解とご協力をお願いしたい。

細木（ほそぎ）　明美（あけみ）　（松政クラブ）

・島根原発2号機再稼働と3号機適合性確認審査申請について
・野良猫の繁殖を抑える取り組みについて
・農山漁村における人口移動対策について

質問　早急に大胆な人口移動・定住対策を

松江市は2060年に人口18万人を目指しているが、東京と地方のような一極集中ではいけない。現在策定中の地域版まちづくり総合戦略が地域の魅力化、人口移動抑制と定住につながるようしっかり支援すべきである。併せて土地や空き家の情報管理システムの構築と、農山漁村における土地の提供・購入、住宅に対しての補助等の新たな支援策を提案する。

回答　多様な世代が生まれ育った地域に住み続けられるような支援を検討する

持続的で自立した地域づくりにつながる積極的な取り組みに対してしっかりと支援していく。自治会にご協力いただいて、今ある空き家バンクを有効に機能させ、加えて空き家対策と中古住宅の流通促進、ＵＩターン者を含めた若い世代の居住促進を実現するために具体策を検討していく。

貴谷（きたに）　麻以（まい）　（真政クラブ）

・不昧公200年祭・ホーランエンヤの広報・展開
・夜の松江と観光冊子の充実
・宿泊・民泊・ゲストハウス（空き家対策・中心市街地）
・子育て・教育のまち
・医療・看取り・こども　地域包括ケアシステムと健康

質問　松平不昧公200年祭・ホーランエンヤの市民の盛り上げや、全国広報は

松平不昧公200年祭、ホーランエンヤ開催に向けて、松江市民と一緒になった盛り上がりと、全国への広報や今後の展開について伺う。

回答　市民公募企画イベントを実施し、各団体と連携して、情報発信をしたい

松江市民にも一緒になって盛り上げて頂くため、不昧公200年祭については、市民公募企画として、今年の4月から10月に、10件のイベントを実施する予定である。又、ホーランエンヤは、松江ホーランエンヤ伝承館とタイアップして取り組みたい。全国に向けた広報は、高速道路、空路など、アクセスの向上を意識したＰＲを戦略的に展開する予定であり、外国人の関心を引きつける行事として、山陰インバウンド機構や、圏域ＤＭＯと連携し、国外への情報発信も積極的に行いたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

津森（つもり）　良治（りょうじ）　（市民クラブ）

・**中海圏域の魅力について**
・住民票等の第三者取得に係る本人通知制度について
・会計年度任用職員について

質問　枕木山の山頂にある「華蔵寺」展望台の改修を

中海低地帯エリアの地質や地形の特異性を学び、認識するうえで格好な場所が展望台と考える。この施設は築50年が経過、大変に老朽化している。日本ジオパークに認定された折、この展望台の改修について検討いただきたい。

回答　老朽化した展望台の改修を検討したい

ここからの眺望は、ジオパークを紹介する松江市のホームページのトップページにも記載しており、大変素晴らしい景色だ。理解を促進するために、良好なビューポイントとして紹介・案内看板の設置を検討している。老朽化した展望台の改修についても検討したい。

宅野（たくの）　賢治（けんじ）　（友愛クラブ）

・松江市における働き方改革の推進
・**障がい者の就労支援**
・保育所保育指針、幼稚園教育要領等の改正への対応
・高齢化住宅団地の住宅市街地総合整備事業
・住民総活躍、地域の消費拡大サイクル構築プロジェクト

質問　障がい者の法定雇用率が引き上げられるが、採用に向けた検討状況を伺う

４月１日から民間企業、地方自治体の障がい者の法定雇用率が引き上げられる。新たに知的、精神障がい者も雇用率の算定対象となるが、松江市の正規職員、臨時職員の採用に向け雇用支援を図るための検討状況を伺う。

回答　嘱託職員などの障がい者雇用を進め、正規職員の採用枠も検討する

障がい者の雇用、就労支援については、今後も行政機関が率先して取り組む必要があると考えている。法定雇用率が0.2%引き上げられるということを受け、担っていただく業務を整えながら、来年度に向けて障がい者雇用を進めていく。正規職員の採用についても、新たに障がい者枠を設けることも検討したい。今後、知的、精神障がいのある方に担っていただく業務について、他市の事例、県内の事例なども参考しながら研究したい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後１時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

委員会・議員提出案件の審査結果

件名		結果
委員会提出議案　第1号	松江市議会委員会条例の一部改正について	原案可決（全員）
委員会提出議案　第2号	松江市議会会議規則の一部改正について	原案可決（全員）
議員提出議案　第1号	精神障がい者への交通運賃割引を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案　第2号	所有者不明の土地利用を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案　第3号	森友学園疑惑の徹底解明を求める意見書について	否決（賛成少数）

その他案件の審査結果

件名		結果
諮問　第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の通知について	可決（全員）

陳情の審査結果

件名		提出者	結果
陳情第9号	大海崎堤防の除草の要望書（国有地及び島根県占用地）提出を求めることについて	八束町牡丹園協会　会長　安部　泰弘	不採択

常任委員会報告〈議案の審査内容（主なもの）〉

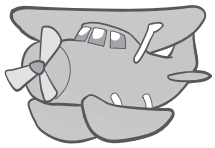
総務委員会　（3/2開催）

総務委員会は、議案28件を審査し、全ての議案を「原案可決」として本会議に報告しました。

松江市事務分掌条例の一部改正

- 平成19年に地方教育行政法が改正され、スポーツに関する事務を「地域づくり」という観点から市長部局において一元的に所掌することができることになった。本市においてもスポーツ振興を地域振興に生かしていきたいと考えており、全庁的な政策調整を行っている政策部でスポーツ部門を所管すべきであると考える。

松江市中海振興多目的施設の設置及び管理に関する条例の制定



- 水上飛行機の運航期間は、4月から10月いっぱいを予定しており、11月から3月までは運航しない期間ということで考えている。

過疎地域自立促進市町村計画の変更

- 過疎対策事業について本年度の計画の進捗状況は、事業数ベースで9割程度である。いわゆる条件不利地域に対して支援をしていくという事が過疎計画の趣旨であり、支援は引き続き必要であると考えている。

教育民生委員会　（3/6、22開催）

教育民生委員会は、議案54件を審査し、全ての議案を「原案可決」として本会議に報告しました。

松江市介護保険条例の一部改正

- 保険料の徴収率は、平成27年度97.34%（滞納者数1,283名）、平成28年度97.24%（同1,501名）で、平成29年度は97.38%（同1,300名程度）を見込んでいる。1年以上滞納した場合、ペナルティーの定めがある。
- 災害や失業などのやむを得ない理由で保険料を納めることが困難な場合は、減免や猶予について担当課に相談していただきたい。

松江市立南学校給食センター整備及び運営事業施設整備業務の請負契約締結

- この事業で採用された「DBO方式」とは、建設、運営、維持管理を一括して発注するもので、経費の節減と効率化が見込める。今後も、この方式に馴染む施設であれば活用を検討したい。
- この施設における食物アレルギーへの対応方針については、この問題で教職員もかなり疲弊している現状があり、センター建設完了までに全体を見据えて検討する。

経済委員会　（3/8、9開催）

経済委員会は、議案27件を審査し、全ての議案を「原案可決」として本会議に報告しました。

松江市美保関海の学苑ふるさと創生館の設置及び管理に関する条例の一部改正

- プール廃止後の指定管理料は、経費的に、約2,000万円減の見込みである。
- 現時点で、プール廃止後の利用について、具体的なものがあるわけではないが、例えば八雲のように民間で活用しようとする提案があれば、協議は受けたいと思っている。
- ふるさと創生館（メテオプラザ）は、地元にとって拠り所になっている施設であるので、民間の力を活用しながら、新たな需要や要求に対し、松江市として、検討を深めて頂きたい。

平成29年度松江市ガス事業会計補正予算（第3号）

- 起債残高は、平成16年度に約75億円あったが、今年度末には、約29億円となる。平成30年度が償還のピークで、その後は、徐々に経営状況が回復していく見通しである。

建設環境委員会　（3/9現地視察・3/12、13開催）

建設環境委員会は、議案21件を審査し、全ての議案を「原案可決」として本会議に報告しました。

松江市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び松江市一般廃棄物の処理手数料に係る収入証紙に関する条例の一部改正

- ごみの減量と資源化への誘導、近隣自治体との均衡、環境行政を市民とともにつくっていくための安定的な財源の確保が必要であり、循環型社会を構築しきれいなまちを次世代に引き継ぐために市民の皆様にご負担とご協力をお願いしたい。
- 財源確保に関しては、単に手数料の値上げといった収益だけではなく、効率化して経費を抑制できるよう、1年ごとの実行計画を立てて取り組んでいきたい。
- ごみの減量とリサイクルについては、環境保全部が882自治会に出向いて説明する。

平成29年度松江市水道事業会計補正予算（第4号）

- 1月、2月に発生した寒波での水道管の凍結、破裂による漏水減免措置については、検針票でもお知らせし、減免の申請を受付ける。

コミュニティバスなどの先進地を視察

平成30年1月24日～26日
総合交通対策特別委員会　委員長　野々内　誠

【群馬県藤岡市】
「コミュニティバス『めぐるん』について」
【埼玉県北本市】
「デマンドバス事業について」
【栃木県宇都宮市】
「ＬＲＴの整備について」

一畑電車問題や市内のバス交通網、新型路面電車等に関することが所管事項の本特別委員会では、新しい委員も加わり課題を深く検討するために先進地を視察しました。

藤岡市の市内巡回バスは、小型車両できめ細かいルートを設定。利用率を上げていくため委託先に報奨を付与していました。コミュニティバスを守ろうという知恵と努力が、行政と住民双方に必要だと改めて感じました。

デマンドバスは、利用者の呼出しに応じて適宜ルートを変えて運行します。北本市は狭い市域をカバーしていましたが、バス定員より予約が多い場合、予約ができないケースがあり、予約諦めが43%と高率で今後の課題であると説明を受けました。

宇都宮市のＬＲＴ（次世代型の路面電車システム）整備は、中心部と工業団地を結ぶ道路の慢性的な渋滞解消のために計画。平成29年度中に着工し平成34年に開業予定ということで、事業化の諸課題を学びました。

〈藤岡市でコミュニティバス「めぐるん」を視察〉

不昧公200年祭・着物姿で本会議に臨む

2月定例会では,平成30年度に松江市を挙げて取り組む「不昧公200年祭」の機運を盛り上げるため、森脇勇人議長の呼びかけにより、議員の一部が着物姿で本会議に臨みました。執行部も、松浦市長と200年祭を所管する錦織観光振興部長が着物姿で出席しました。

松平不昧公没後200年を契機に、不昧公の育んだ茶の湯、暮らしの中にある松江の茶の湯を紹介し、松江を訪れる人、松江で暮らす人の誰もが身近に親しみやすく茶の湯へ触れることができる雰囲気を松江市全体で作り上げていく必要があります。

また、今年から、4月24日を「茶の湯の日」と定め、茶の湯に関する文化紹介と消費拡大に継続的に取り組むこととしています。

〈着物姿の女性議員（6名）〉

６月定例会日程

月	日	曜日	会　議　名
6	13	水	本会議（会期の決定、提案説明）
	18	月	本会議（一般質問）
	19	火	本会議（一般質問）
	20	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	21	木	総務委員会・予算委員会総務分科会
	22	金	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	25	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	26	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	29	金	予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
7	3	火	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

議会事務局 TEL 55-5432

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいております。

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等委員会（松江市議会事務局）
電　　話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/

編集後記

初めて議会広報等委員会の一員となり一年がたとうとしています。「手に取って読んで頂ける議会だより」をめざして委員の方々から出される「表紙を元気な子どもたちの写真に」、「議会傍聴の仕方をあっぱれ君と共に案内」などのアイデアに刺激を受けながら編集に携わらせていただいています。市民の皆様に、より身近な市議会になるためのツールとなるよう、さらに委員会で工夫を重ねていきます。

議会広報等委員会委員　田中　肇